

編集後記

夏休みをずらし、ダイビングを目的にモルジブ共和国の南マーレ環礁にあるビヤドゥー島に行ってきた。ダイビングを再開して5年目となるが、ダイバー達の憧れの的となっているモルジブを訪ねるのは今回が初めてである。ご承知のようにモルジブ共和国はインドの南西約600kmの洋上に、南北約753km、東西約118kmにわたって広がる26の環礁からなる国である。その環礁に大小1,200の島があり、人が住んでいる島は200余りである。首都は北マーレ環礁にあるマーレ島にあり、宗教はイスラム教である。

我々は成田からシンガポール乗り継ぎでマーレ島に到着したが、飛行時間の合計が11時間、マーレ島からビヤドゥー島までが船で約1時間、島に到着したのは現地時間で23時を過ぎていた。日本と時差が4時間あることから、自宅を出てからほぼ24時間掛かって島に到着したことになる。

翌朝から早速ダイビングを始めたが、長旅の疲れ、日頃の不摂生がたたり、夕食が済むと忽ち眠くなり、

ベットに潜り込むという日が2日続いた。3日目になると体も慣れ、余裕が出てきた。ホテルの部屋を改めて見ると、日頃当たり前と思っていたテレビがない。勿論、新聞もない。この島には宿泊者に外部の情報を提供するシステムがないのである。宿泊者は、島の外で何が起きていようと全く知る術がないのである。

我々はこの島に6泊するだけだったので、むしろ日常を忘れ、ダイビングに没頭することができる究極の楽園とも思ったが、もし、このような環境の中にずっと置かれた場合を想像すると何ともいえない不安がこみ上げて来た。

首都マーレに戻り、飛行機の出発までホテルで休憩を取った。部屋にはテレビがあり、小泉首相の北朝鮮訪問、貴乃花と武蔵丸とが千秋楽で優勝決定戦を行うことなどをNHKの文字放送が伝えていた。正直、情報に接することができ安堵した。

ご多忙中にもかかわらず、ご執筆頂いた皆様方に心から感謝致します。

(軍記・加藤・橋本)

11月号予告

- ・大規模連続土工のシステムインテグレーション—土砂破碎・搬送設備の総合運転監視システムの構築(岬町多目的公園造成工事)—
- ・大型起重機船による大ブロッカー括架設—新九州空港連絡橋の建設—
- ・TULIP工法を用いた先行支保工の施工—鉄道に近接した飛鳥山下に建設する道路トンネルの作業基地の築造—
- ・海水浸透取水方式による淡水化プラント施設の概要—日最大量5万m³の飲料水生産設備—
- ・盛り土転圧情報化施工管理システム
- ・プラスチック焼結体エレメントを用いたトンネル用集塵機の開発
- ・ラバーシリンダ式高圧水発生によるウォータージェットはつり工法の開発

機関誌編集委員会

編集顧問

浅井新一郎	石川 正夫
今岡 亮司	上東 公民
岡崎 治義	加納研之助
桑垣 悦夫	後藤 勇
新開 節治	高田 邦彦
田中 康之	田中 康順
塚原 重美	寺島 旭
中岡 智信	中島 英輔
中野 俊次	本田 宜史
両角 常美	渡邊 和夫

編集委員長

橋元 和男

編集委員

久保 和幸	国土交通省
小幡 宏	国土交通省
池田 哲郎	国土交通省
窪 豊則	農林水産省
江藤 祐昭	原子力安全保安院
本多 明	日本鉄道建設公団
軍記 伸一	日本道路公団
門田 誠治	首都高速道路公団
坂本 光重	本州四国連絡橋公団
山崎 劭	水資源開発公団
高村 和典	日本下水道事業団
吉村 豊	電源開発
渡辺 博明	大林組
土井 重孝	鹿島
橋本 弘章	川崎重工業
岩本雄二郎	熊谷組
矢仲徹太郎	コベルコ建機
金津 守	コマツ
奥山 信博	清水建設
山口喜久一郎	新キャタピラー三菱
増子 文典	大成建設
星野 春夫	竹中工務店
加藤 謙	東亜建設工業
境 寿彦	日本国土開発
齊藤 徹	日本舗道
館岡 潤仁	ハザマ
緒方浩二郎	日立建機

No.632 「建設の機械化」 2002年10月号

(定価) 1部840円(本体800円)
年間購読料9,000円

平成14年10月20日印刷

平成14年10月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 玉光弘明

印刷所 株式会社技報堂

発行所 社団法人日本建設機械化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501; FAX (03) 3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

建設機械化研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話 (0545) 35-0212
北海道支部	〒060-0003 札幌市中央区北三条西 2-8	電話 (011) 231-4428
東北支部	〒980-0802 仙台市青葉区二日町 16-1	電話 (022) 222-3915
北陸支部	〒951-8131 新潟市白山浦 1-614-5	電話 (025) 232-0160
中部支部	〒460-0008 名古屋市中区栄 4-3-26	電話 (052) 241-2394
関西支部	〒540-0012 大阪市中央区谷町 1-3-27	電話 (06) 6941-8845
中国支部	〒730-0013 広島市中区八丁堀 12-22	電話 (082) 221-6841
四国支部	〒760-0066 高松市福岡町 3-11-22	電話 (087) 821-8074
九州支部	〒810-0041 福岡市中央区大名 1-12-56	電話 (092) 741-9380